

文化ホール及び公民館 内部評価結果 (施設所管課による評価)

【評価対象施設】文化ホール・公民館

【指定管理者名】株式会社 アステム

【評価対象年度】令和6年度

【施設所管課名】産業・文化部 生涯学習課

業務内容についての評価

条例・協定書に基づき、適正に管理・運営を行っています。

令和6年度は、芸術文化の向上、生涯学習の振興や市民の自主的な学習、活動のきっかけとなる事業の実施は全54件でした。「地域の皆さんとともに歌うダ・カーポ子どもたちに伝えたい童謡コンサート」では、様々な世代の人たちが大きな舞台でたくさんの観客を前に自分たちの歌声を披露する舞台を作っていただきました。また、四條畷学園高等学校の生徒による運営サポート、客席前方のオーケストラピットの座席を外し、車椅子利用者がステージ間近で鑑賞できる新しい取組みの実施など、今後の運営にも好影響を与えるものでした。

3館連携事業「だいたうもめんの輪@サーティ」では①綿を栽培・収穫、②ワークショップでのマスコットキャラクターの製作、③「ダイトウアーティスト展」での展示を行うという1年を通しての事業を実施、モノの成り立ちや創作活動の一部始終を経験することができる貴重な体験を提供することができたと思います。

公民館では「公民館地域塾」にて街中にある石造物に着目し昔の文化を深掘りし、歴史を学ぶ機会を作ることができました。また、「我ら厨房男子！健康料理のキホンを学ぼう」では男性に料理の機会を創出し、日々の生活に直結した学びの場を1年で3度、提供できました。これからもニーズに応えるような講座やイベントを実施、サークル数や参加者の増加をお願いします。

今後も若年層から高齢者まで、幅広い世代に求められるイベントをたくさん実施していただき、大東市の魅力を更に増すよう、人々の感動や発見、笑顔が集まる場所として発展させてください。

施設の利用者合計については、令和5年度に比べて文化ホールでは微減、公民館では微増となっています。(【文化ホール】R5:166,692人、R6:164,184人【公民館】R5:31,766人、R6:32,806人)稼働率についても利用者と同じ傾向でした。(【文化ホール】R5:50%、R6:49%【公民館】R5:42.2%、R6:42.4%)

施設の管理運営については、老朽化に伴う故障や不具合に対し、利用者の安全確保を早急に実施し、その後も機能維持のために適切な対応をしていただいております。今後も引き続き、利用者の安全と快適な利用を維持するために、適切な管理運営をお願いします。

利用者満足度について評価

今年度の利用者アンケートでは、文化ホールの「施設全般」について、「満足」と「やや満足」の合計が59%、「不満」と「やや不満」の合計が1%でした。

公民館の利用者アンケートでは、「公民館全般」について、「満足」と「やや満足」の合計で71.6%と昨年度よりも3.5%上昇しています。

どちらも高い水準を維持していますが、不満の声もありますので、改善できるものについては積極的に取り組んでいただき、更なる満足度の充実を図ってください。

寄せられた意見としては、サークル活動における高齢化や会員減少によるものが多くみられます。間接的な支援も含めて、活動が今後継続できるよう工夫や対応をお願いいたします。

収支状況について評価

収入については、昨年度に比べ施設利用料金と指定事業の参加料の減少が大きくなっています。指定事業参加料の減少は昨年度に集客が良かった大規模な自主提案事業があったことによる影響ですが、今年の自主提案事業の集客が思ったほどに伸びなかったことも影響しているものと考えられます。また、施設利用料金についても昨年度が好調だった影響もありますが稼働率が減少していることにも要因があると思われます。

支出については、光熱水費の高騰による影響が大きくなっています。また保守点検業務や清掃業務の委託費用については、人件費の高騰が止まらず大幅な上昇となっています。

昨年度と比べての収入の減少と固定経費の上昇により最終的には811千円の赤字となっております。社会的要因によるところが大きいのと思われますが、収入の拡大に課題が残る結果となっております。

地域の人が高度な音楽体験ができるステージを提供したり、新たな舞台運営を試みたり、施設やステージを超えたイベントを実施したりと充実した運営をしていただいていることに高く評価します。また、これに加えて施設利用料金収入の上昇、事業収入の黒字化に利用率の向上といった課題について、今後の運営に期待します。

総合評価

令和6年度の事業は前年に比べても微増しており、新たな試みをいくつも実施して開催された自主提案事業は参加者だけでなく観客からも好評でありました。ただ前年の提案事業のチケット販売収入が良かったことにより収入の減少が目立つ結果となってしまいました。今回の試みを今後のイベント運営に生かすことが重要と考えます。

今後も魅力的な事業を展開し、サーティホールとしてのブランド力を向上させるような事業に期待しています。また、HPの改善やSNSの活用等にも力を入れていただき、催しや活動を利用者だけでなく、普段あまり利用されない人にも広報の幅を広げていただくよう今後に期待しています。

今年度も老朽化による改修工事や修繕などを複数実施いたしました。急な対応を迫られる場面も数多くありましたが、その度に柔軟な対応や調整、利用者への迅速な対応をとっていただき大きな問題もなく施工でき感謝しております。

総合文化センターは、文化ホールと公民館の複合施設であり、その役割は質の高い舞台芸術を提供することと、文化・芸術活動を育むことにあります。そこで、より多くの方に利用していただけるよう魅力的な事業を多く提供し、幅広い世代の方に利用されるような場所づくり、体制づくりを行い、支援を継続してください。